

プラスチック短信

(海洋／マイクロ／バイオ・プラスチック／リサイクル関連)

目次

1. 国内政策等の動向.....	1
◆経団連、業種別プラスチック関連目標を取りまとめ	1
◆日 EU 定期首脳協議、共同声明でプラスチック問題にコミット	1
◆「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」案がまとまる	1
2. 海外政策等の動向.....	3
◆ニューヨーク州、2020年3月から小売店での使い捨てプラ製レジ袋提供禁止	3
◆ケニア、プラ製袋に続き、プラ製不織布を全廃.....	3
◆ジュネーブ、3月よりレジ袋無料配布廃止、20年から公共施設で使い捨てプラ規制..	3
◆北欧閣僚理事会、海洋プラスチック問題への対策強化で合意	3
◆世界銀行、海洋プラスチック問題へ対応の「持続可能な開発ボンド」発行.....	4
◆モルガン・スタンレー、廃プラ問題で決意表明、2030年までに5千万t削減.....	4
3. リサイクル関連	5
◆サントリー、「FtoP 製造ライン」増設を決定	5
◆豊田通商は共同で、リサイクルプラスチック製造事業会社を設立	5
◆宇部興産、欧州子会社がスペインのコンパウンド製造 Repol S.L.の買収を決定.....	5
◆MOL、リサイクルプラスチックのコンパウンド事業を本格化	5
◆イネオススタイロレーション、解重合スチレンモノマーでポリスチレン生産に成功..	5
◆アップル、店舗やオンラインで製品回収し、部材原材料へとリサイクル	6
◆アディダス、100%リサイクル再生産可能なランニングシューズ開発	6
4. バイオ・プラスチック	7
◆クラレ、米シールドエアーとバイオマス由来ガスバリア材の樹脂供給契約を締結.....	7
◆カネカとセブン&アイ、生分解性ポリマーPHBH を用いた製品を共同開発	7
◆カネカと資生堂、生分解性ポリマーPHBH を用いた化粧品容器を共同開発へ.....	7
◆北海道大学、バイオ・プラスチック原料を大量合成する技術を開発.....	7
◆米アネロテック、バイオ芳香族を商業化	8
5. 代替品.....	9
◆サムライトレーディング、産業廃棄物の卵殻を配合したプラスチック	9
◆北越コーポレーション、セルロースナノファイバーと炭素繊維の複合素材.....	9
◆GS アライアンス、木、竹、廃木材など植物原料のプラスチック.....	9
◆グリーンネット・エンジニアリング、竹粉を高比率配合したプラスチック	9
6. 容器・包装	10
◆三菱ケミの BioPBS をラミネートした紙コップ、次世代カップとして表彰.....	10
◆ディアジオ、缶パック販売でのプラスチック梱包を紙製に切り替え.....	10
◆テスコ、野菜・果物のラップ包装なし販売を2店舗で試験導入	10
◆サイゴンコープ、プラスチック製ストローの販売禁止.....	10
◆スターバックス株主、マグカップ等での飲料提供 25%以上に44.5%が賛成.....	11
◆グリーンピース、ネスレに対し使い捨てプラスチック禁止キャンペーン開始.....	11
◆ウォルマート、レジ袋やポリエステルもリサイクル素材に	11
◆ユニリーバ、プラ容器の再生素材割合を2019年末までに50%に	11
7. その他.....	12
◆As You Sow とエクソンモービル、プラスチックペレットの流出状況の開示で合意..	12
◆HP、回収した海洋プラスチックの洗浄ラインを増設	12
◆辺境の山地にもマイクロ・プラスチック、大気中を浮遊.....	12
◆スタートアップ・ワールド・カップ&サミット欧州大陸大会、プラハで開催	12
◆日本財団と富山市、海洋ごみ対策のモデル構築.....	12

2019年4月
旭リサーチセンター

1. 国内政策等の動向

◆経団連、業種別プラスチック関連目標を取りまとめ

日本経済団体連合会は2019年4月16日、循環型社会形成自主行動計画の2018年度フォローアップ調査結果にあわせて、業種別プラスチック関連目標を公表した。2018年11月に策定した経団連提言『『プラスチック資源循環戦略』策定に関する意見』に基づいて、20業種から43の目標が表明されている。

<http://www.keidanren.or.jp/policy/2019/032.html>

業種（団体名）	目標	目標年度	基準年度
自動車 （日本自動車工業会）	工場等から発生する産業廃棄物全体の再資源化率：99%以上を維持する	2020年度	—
	使用済車から発生するシュレッダーダストのリサイクル率：90%以上を継続・維持する	2030年度	2005年度
自動車車体 （日本自動車車体工業会）	産業廃棄物最終処分量を2000年度比で89%削減	2020年度	2000年度
牛乳・乳製品 （日本乳業協会）	容器包装のプラスチック使用量を可能な限り抑制するよう商品設計を行う	—	—
	容器包装のプラスチック原材料として、環境に配慮した素材の使用を推進する	—	—
	製造工程から排出される廃プラスチックは、再生処理事業者を通じて再資源化を促進する	—	—
清涼飲料 （全国清涼飲料連合会）	清涼飲料業界のプラスチック資源循環宣言	—	—
	PETボトルリデュース率25%以上	2030年度	2004年度
	PETボトルリサイクル率85%以上	2030年度	—
	PETボトル有効利用率100%	2030年度	—
	容器のポイ捨て・散乱防止に対する啓発活動の強化	—	—
	回収率100%に向けた効率的な回収システムの構築	—	—

◆日EU 定期首脳協議、共同声明でプラスチック問題にコミット

2019年4月25日、日EU 定期首脳協議に際しての共同声明で、プラスチック問題については、以下のように言及された。

我々は、循環型経済及び資源効率性を進展させること、安全かつ持続可能な代替策を推進しつつ、マイクロ・プラスチックを含む海洋プラスチックごみに対する具体的行動を促進すること、また、使い捨てプラスチック製品の環境への悪影響に対処することにコミットしている。この文脈において、国連環境総会の第4回会合において採択された閣僚宣言で想定される革新的解決策を想起し、これに対する我々の支持を再確認する。

https://www.mofa.go.jp/mofaj/erp/ep/page1_000788.html

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000472826.pdf>

◆「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」案がまとまる

2019年4月、パリ協定長期成長戦略懇談会の提言がまとめられ（2日）、中央環境審議会地球環境部会産業構造審議会産業技術環境分科会地球環境小委員会合同会合（23日）では「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略（仮称）（案）」が提示された。

長期戦略（案）のなかでは、プラスチック関連は以下のように言及されている。

- ・廃プラスチック等の廃棄物を炭素源として活用する（p.21、121）
- ・バイオマスを基幹化学品だけでなくセルロースナノファイバー等の高機能素材に利用する（p.21、122）